

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

大宜味村教育委員会
 電話 44-3006
 FAX 44-3020

2021年、新学期スタート!!



1月6日（水）、おおぎみこども園、大宜味小学校・中学校で始業式が行われました。

短い冬休みを終え、寒い中元気に登校してきた園児、児童、生徒たち。

中学校では多目的室で始業式が行われ、生徒を代表し3年生の高江洲愛さんが「3学期は3年生にとって義務教育最後の学期になる。受験勉強も頑張りながら、クラスのメンバーでいい思い出をたくさん作れたらいい。残り少ない時間を無駄にしないよう、1日1日を大切に、体調管理もしっかり気を付けて最後の中学校生活を楽しく過ごしたい」と抱負を述べました。



校内放送で始業式を行った小学校。児童を代表して2年生の宮城重大さんは「学習では算数と国語のテストで100点をとること、英語検定と漢字検定に合格すること生活では自分から朝のあいさつをすること、給食を残さず食べることを頑張りたい。テストのときは見直しをするようにする、給食では量を調整しておしゃべりせずに食べるようにしたい」と3学期に頑張りたいことを話しました。

こども園では3歳児～5歳児が始業式に参加し、ひまわり組、ゆうな組は「人の話を聞く」、「ごはんを残さず食べる」と目標を発表、でいご組は「二重跳びができるようになる」、「風邪をひかずに元気に過ごす」など1人1人が3学期に頑張りたいことを発表しました。

短い3学期ですが、風邪にもインフルエンザにもコロナにも負けず楽しい学校生活を送ってください。

3学期も授業楽しんでいる？ 大宜味小で授業参観



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生

1月15日（金）、大宜味小学校で授業参観が行われました。

お父さんやお母さんが見守る中、児童たちは後ろや横を気にしながらも、一生懸命授業に集中しました。1年生は保護者と一緒にスライムづくりに挑戦。色とりどりのスライムが完成し、感触を楽しみながら遊ぶことができました。平日の開催ではありましたが、多くの保護者が参観にきており、児童たちもいつも以上にやる気満々で授業に取り組むことができました。



1年生



2年生



3年生

フライングして中学校の授業も参観しましたが、中学生も授業を楽しんでいました(*^_^*)

長年の清掃活動が認められ、辺士名高校「小さな親切」実行章受賞

1月25日（月）、公益社団法人「小さな親切」運動本部（代表鈴木恒夫）から辺士名高等学校に24年間継続している辺士名高校のクリーンアップ作戦に対して「小さな親切」実行章が贈られました。

「小さな親切」運動は1963年6月にスタートしたもので、思いやりのネットワークを広げるため、小さな親切を行った個人や団体を推薦し、表彰されるものです。

11月に新聞に掲載された辺士名高校のクリーンアップ作戦の活動を見て感動した浦添市の仲村正樹さんが推薦人となり、今回の受賞となりました。

表彰状を受け取り、生徒会長の梶本凜太郎くんは「学校で一体となり、地域をきれいにすることで地域との繋がりを深めることができよかった。クリーンアップ作戦が認められたことが嬉しい。小さなことからでもやるのがベストだと思った」と喜びました。

仲村さんは「高校生や先生方が純粋な気持ちで24年間も続けてきたことは素晴らしい」と功績を称えました。辺士名高校のみなさん、おめでとうございます。そして長年の清掃活動ありがとうございます！！



令和3年 大宜味村成人式



1月4日（月）、大宜味村農村改善センターにおいて、令和3年大宜味村成人式が行われました。今年の成人者は39名、そのうち29名が式典に出席しました。

今年はコロナウイルス感染拡大防止のため、激励交換会は中止、式典も規模縮小となり例年とは異なる中での開催となりました。

成人者はお揃いの袴やスーツ、艶やかな着物を身にまとい、続々と来成人代表あいさつ：新城日菜さん 場。久々に会う仲間たちとの会話に花を咲かせました。

式典では 新成人を代表し、新城日菜さんは「コロナ禍の中、成人式を大好きな大宜味中学校36期生の仲間と元気に迎えることができたことを嬉しく思います。『20歳』という大きな節目を迎えた今、これから先どのように人生を歩み、社会に貢献していくか自分自身と向き合い考えていきたいと思います。新成人一同、これからも感謝の気持ちと成人としての決意を忘れることなく、前向きに自分らしく、力強く生きていくことを誓います」とあいさつし、仲間たちが見守る中、家族や来賓の方々に立派に成長した姿を見せてくれました。

仲の良い36期生らしく、制限を用いられた中でも明るく楽しく笑いの絶えない式典となりました。



ぶながやの里生涯学習講座

大人の草木染め 参加者募集のお知らせ

日時：2021年2月20日（土） 9:00～12:00 終了予定
場所：旧大宜味小 家庭科室
対象：村民（高校生以上） **先着10名** ※定員に達し次第、締め切りとなります。
参加費：保険代（100円）+布代（1枚1000円程度）
持ち物：水筒、エプロン、軍手、マスク、剪定ばさみ、参加費
申込方法：参加希望者は**2月15日までに教育委員会に直接お電話で申し込んで下さい。**
連絡先：大宜味村教育委員会 ☎44-3006（担当：倉持）
 ※コロナウイルス感染状況により、延期中止する場合があります。ご了承ください。

～教育委員会 会議だより～

大宜味村教育委員会では毎月第4木曜日に教育委員会会議を行い、教育に関する方針の決定、教育委員会規則の制定やその他重要な事項の決定を行っています。ただし、緊急の場合は臨時会を招集して審議を行います。教育委員会会議だよりでは、会議で決定した事項をお知らせして参ります。

第12回 教育委員会議 令和2年12月24日（木）午後2時開催
 議案第34号 令和3年度教育予算（案）について <<原案可決>>

※令和3年度の教育予算について審議を行いました。なお、詳細については令和3年度の予算が議会において議決した後に掲載をいたします。

図書室情報 No.18 2021年（令和3年）2月

大宜味村図書室（旧大宜味小学校2F：村史編集係内）
 大宜味村字大宜味1番地 0980-44-3009

利用状況累計
 ○来室者数…のべ822人
 ○貸出冊数…1,581冊
 ○登録者数…86人
 ●1月の統計（1/25まで）
 ○来室者数…のべ45人
 ○貸出冊数…81冊
 ★現在の蔵書数…5,736冊+県立図書館の本500冊

新本紹介



リクエスト本



県立図書館の本は
貸し出し・・・2/12（金）まで
返却期限・・・2/26（金）まで とさせていただきます。
 ※来室の際は、マスクの着用、手指の消毒にご協力ください。

2月図書室カレンダー 閉室日：

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

道具から昔の人たちの暮らしを知ろう！ 大小3年生社会科校外学習



1月19日（火）、旧塩屋保育所で大宜味小学校3年生の社会科校外学習が行われました。

現在、旧塩屋保育所にはサバニや脱穀機、機織りなど様々な民具や釜やおたま、アイロンなど家庭で使われていた道具なども所蔵されており、今回、米須邦雄教育長を講師に迎え、昔の道具について教えてもらいました。



今のように機械がなかった時代、米はスリウスという道具を使って精米し、ご飯は火を起こして釜で炊いていました。道具の方言名や使い方などを教えてもらった児童たち。昔の道具の形や使い方に驚きながら、昔と今の違いや、それぞれのいいところを探ることができました。

令和2年度大宜味村育英会入学準備金貸付募集についてお知らせ

大宜味村育英会では、村内に住所を有し、大学、短大、専門学校（高等専門学校含む）等に進学予定の者で、経済的な理由により修学困難な学生を対象に、令和2年度入学準備金貸付奨学生を次のとおり募集します。

- 採用人員 3人程度
- 貸付金額 30万円（県内・県外同額）
- 応募資格 (1) 大宜味村に住所を有し、現在大学、短大、専門学校等に進学予定の者で、経済的な理由で修学困難な者。
(2) 学業優秀、志操堅固であること。
(3) 家計上学資の支出が困難であること。
- 提出書類 ① 大宜味村育英資金入学準備金申請書
② 合格証明書
③ 在学証明書（進学後に提出。令和3年4月1日以降に発行されたもの）
④ 住民票謄本（続柄入り）
⑤ 所得証明書（同一生計者全員分）
⑥ その他必要な書類（村育英会にお問い合わせ下さい。）
- 受付期間 令和3年2月1日（月）～2月26日（金）
午前8時30分～午後5時15分（土、日曜、祝祭日は除く）
- 提出先 大宜味村育英会（大宜味村教育委員会内） ☎905-1306 大宜味村字大宜味1番地
- 奨学生決定通知
貸与者の選考は、願書等の書類に基づき、村育英会役員会の審議を経て決定します。（3月中に本人宛通知します。）

※ 月額貸付奨学金（月額3万円）については、4月の募集となります。
 ※ その他、詳細については、村教育委員会へお問い合わせ下さい。
 TEL 0980-44-3006（担当：吉田）

村史編さんだより

第118号 2021年2月1日 大宜味村村史編纂係44-3009

求ム！押し入れの奥に眠っている古い写真

連絡先 村史編さん係 0980-44-3009

写真は、何十年経っても一目で当時の様子を知ることができ、その一枚一枚から物語りや思いなどがよみがえり、思わず時を忘れて見入ってしまう歴史の生き証人です。

次年度から『大宜味村史 写真集』の編集作業がいよいよスタートしますが、それに先立ち、皆様のご家庭に眠っている古い写真や身分証明書、賞状などなど、昔の生活や社会情勢などを知るよすがとなる資料を探しています。どこのご家庭にも押し入れの奥に眠っている古いアルバムなどがあると思います。これを機に、ご家族の足跡を紐解くとともに、片づけ・整理を兼ねて、村史職員がお手伝いさせていただきますので、ぜひご一報ください。お借りしたアルバムなどの写真は、データを取らせていただいた後、ご希望があればラミネート加工をしてお返しいたします。

皆様のご協力により、内容豊かな写真集にできればと願っておりますので、ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

セピア色の写真が語る歴史の足跡



『杣山制度論』を読む 五 仲吉朝助著・明治三七（一九〇四）年

杣山の監督（村史だより二四号より続き）

- 一、唐竹敷々憔悴之所は稲スクブ入付左候て何山何百坪之所へ何程入付候段首尾可申出事
- 一、諸御用木御仕立敷々ガウ道（周囲の道）結構に致掃除尤敷内へ萌立候雑木草類外へ不持出様敷内へ可置事
- 一、桐木敷々下車苧取種子一粒逆（とて）も不残様拾取左候て出来高取占可申出事
- 一、唐竹敷々猪垣破所は修補可致事
- 一、杣、杉（広葉杣を杉（つあ）と称す）本数改年期にて回勤相改候間兼て其の手組可有之事
- 一、唐船楫役投物木見立之杣杉役名高回相付当時御用又は何年以後御用可相立段札に書改立会可置事
- 一、後年百浦添西之御殿（共に旧藩王城宮殿の名）御普請御用杣木之儀諸方御用に無混雑様印土手築立懸札等仕合可置事
- 一、松禁止敷々堅立之所は間ブケ致しガウ道等結構に仕合尤も右松へはい掛り候カツラ悉く可苧除事但山中御仕立之松も本文同断
- 一、杣山喰実境並他間切境土手相失候所は□方を以築立相破候所は致修捕印等立合可置事
- 一、諸御用木御仕立敷々山名坪付仕立年号仕立奉行構山当名面札に書記立合可置事
- 一、唐竹之儀伐取候わば其の根は則々十文字割可致事
- 一、砂糖樽蓋板底板之儀当月中限り皆同杣取仕置回勤之砌可入見分事
- 右箇条之通頭役始係役々立会見分之上仕させ尤来月中旬頃差越管候間右箇条之外にも気を付無手技可被取計候萬一令大形夫々不行届儀も候わば各にも可及越度條聊無軽疎可被致下知候

以上同治七年（我明治元年）辰八月西山奉行恩納間切、名護間切、本部間切、今帰仁間切下知役、検者、山筆者地頭代、総山当宛（国頭郡今時仁間切役場保管に係る日記）
以上は琉球藩が杣山を監督せる概略なり。置県後に至りては杣山に対する監督の全権は沖繩県知事に在りて郡長、島司をして山奉行若くは在番の職務を執らしめ、尚中頭、国頭の両郡に於ける杣山は山方筆者（旧藩時代には山筆者と称せしも置県

後は山方筆者と命名せり）を置いて藩制時代に於ける山筆者の職務を行わしめ、別に那覇、泊、与那原の三港には船舶取締筆者を置いて、杣山地方往來の船舶に對して其の積荷を検査せしむ。尤も山方筆者を設ける杣山地方に在りては、其の職務も又郡長島司をして行わしむ。

杣山に對して古來官庁は絶対的監督権を有し、殆ど二拳手一投足の作業に至るまで指揮命令して余す所なきが如し。是れ則ち杣山が今日に至るまで甚だしき濫（らん）伐を蒙らずして其の林相を維持したる所以にして、仍（よつて）将来に於ても又他監督の大体に於ては従來の慣行に準依するの適當なるを信ず。然れども従來の監督方法は頗る緻密にして詳細を極めしが如くなるも一樹一木の取締に重を置きし為、殆ど消極に陥りて、森林経営の大局を觀察すれば之が刷新を要すべき点少なからず。

尚、従來の監督機關も又今日の状況に適應せざる欠点ありて、改革の必要あるが如し。而して此等の経営に關しては他日林地の実況に關し精密の調査を遂ぐるの機会を得て更に詳論せんとなす。

杣山に関する間切、島、村の営林機関

古來杣山を管理せる間切、島、村は官庁の指揮監督を受けて其の管理杣山の営林を行うの義務あるものにして、旧藩制時代に在りては間切に総山当数名、村に山当、山師、山工人各数名を設け（宮古、八重山の両島は蔵元に杣山下知役として与人、目差、杣山筆者、筆者加勢数十名を置きたり）而して総山当は山奉行、山筆者並に下知役、検者、地頭代の指揮を受けて村吏を監督し、山当、山師、山工人は官吏及び間切、村吏員の命令を受けて自ら営林に従事し、又は村民を監督して営林を行わしむ。

尤も間切に在りては総山当、村に在りては山当、山師・山工人を以て杣山営林の主任とせるも、藩庁に對しては間切は下知役検者、及び地頭代以下の吏員、村は地頭、掟（共に村事務に専任せる吏員）及び其の村出身の吏員及び退職吏員等凡て連帶の責任を有す。

而して各吏員の杣山巡回は下知役、検者、地頭代は毎月一回以上、総山当、村山当は毎月五日宛の定期巡回並大風雨の翌日に臨時巡回をなすの外、山奉行の巡回には此等の吏員より村吏に至るまで凡て随行をなす規定なり



「しまふとうば」ぬくとう 61



うみがーみー

最近、自分の常識を揺さぶる刺激的な出会いがあった。

「植物は<知性>をもっている・20の感覚で思考する生命システム」というタイトルの一冊の本である。

帯紙には

「世界観の転回を突き付ける刺激的な本」、「『知性とは問題を解決する能力、と定義づけるならば、植物は人間の能力をはるかに超えている』

「自分の好きなものにしかつるを巻かないつる性植物はもはや動物である、とベランダ園芸家たる私はかねてから主張してきた。だが、それどころではないと本書は明かす。ハエトリグサがトマトがマメがマツが、人間とは別種の知性で生きているのだ。彼らに私はユーモアさえ感じる。すなわち尊厳を。」とあり、本を読む前から十分に興味をそそられた。自分の固まった常識を少し緩めて読み進んで行くと、常識がもっと緩められた。植物には人間の持つ五つの感覚（視覚、聴覚、触角、味覚、臭覚）をすべてもっていて、なおかつ五感以外に、重力、磁場、湿度などの15の感覚を備えていることが科学的にも証明されているというのである。多くの人が経験しているねむの木を触ると、開いていた葉が閉じる現象はねむの木が危険を感じて閉じるというのである。食虫植物に虫が止まるとそれを察知して葉を閉じ、虫を閉じ込めて殺し、栄養にする、というのである。等々、科学的に証明された多くの事例が紹介されている。本を読みながら農業を営む上でのある言葉を思い出した。「作物は収穫時にその人が関わった分だけ応えてくれる」。私も小さな家庭菜園で農業の真似ごとをしているが予想する収穫物を得るのが難しい。うまくいかないのは土壌や虫、気候のせいにしてきたのだが、結局は育てる作物と自分との信頼関係の問題なのだろう。と、再認識させられた本である。



今月の生きもの

リュウキュウバライチゴ：バラ科

ハ～イ、私リュウキュウバライチゴです。今は白くて可愛い花でみんなの目を癒しています。春には赤い果実が目立つように…。この実は甘くておいしいので森の仲間たちにも大人気♪

鳥さんたちがよく食事に来るの。私たちの周りには食事に来た鳥たちを狙うハブも潜んでいるからイチゴ摘みをするときは注意してね。そしてバラ科の植物だから、トゲにも気を付けて。皆さんにとってはおやつのおイチゴも生きものたちにとっては大事な食糧。分け合えたら嬉しいな。



🐱2月の行事予定🐼

1日（月）区長会	16日（火）（小）新入生保護者説明会
2日（火）節分	19日（金）少年を守る日
6日（土）（中）野球県春季大会 ～ 8日	20日（土）おきなわ地域教育の日
7日（日）大宜味村教育の日	21日（日）家庭の日・ファミリー読書 2月27日
日曜参観（きらめき・くがに一発表会）	23日（火）天皇誕生日
8日（月）振替休日（2/7 授業参観 小中）	25日（木）定例教育委員会議
11日（木）建国記念日	26日（金）お別れ遠足（園）
12日（金）（中）新入生保護者説明会	27日（土）（中）テニス地区ヨネックス杯団体 ～ 28日
13日（土）地区ミニバスケット交歓会 ～ 14日	（中）バスケ地区1年生大会 ～ 28日



新撰組の日

もともと短い3学期ですが、すでに半分以上過ぎてしまいました。3学期は次の学年へ進級するため、でいご組や小6、中3は進学に向けての準備期間となります。気負うことなく、気を抜かず1日1日を大切に過ごしてください。